

地域の絆を深め、地域の子どもの育ちを共に支えるために

やってみよう!

通学合宿

通学合宿とは・・・

子どもたち（小学生・中学生）が地域の方々の協力を得て、公民館や自治会館などで一定期間（3日～7日間）寝泊りし、炊事や洗濯などを自分たちの力で行いながら、学校に通う体験活動です。



「地域」は、子どもたちが人間性や社会性、他者への思いやりの心を育み、「生きる力」を身につける場として、大変重要な役割を担っています。その中で、地域の方々と一緒に、子どもたちが主体的に地域の行事等に関わり、様々な体験を積み重ねることが大切です。「地域の絆を深め、地域の子どもの育ちを共に支える」ために、「通学合宿」はとても効果的な取組です。

期待される効果

- 子ども … 共同生活を送ることをとおして、自主性・生活力・協調性などが身につくにつぎ、規則正しい生活ができるようになるとともに、自ら考え行動しようとする力を育むことができます。
- 保護者 … 子どもと地域のつながりや、家庭教育について考えを深める機会となり、保護者自身が地域ボランティアとして活動するきっかけになります。
- 地域 … 子どもの体験活動を支えることで、子どもと大人、大人同士が「顔と名前が一致する関係」ができるなど、地域のつながりが深まり、地域の教育力向上が期待できます。

Q & A

Q 子どもたちへの接し方は難しいですか。

A 高度で専門的な知識や技能は必要ありません。地域の大人として愛情を持って子どもたちを見守り声をかけてあげてください。

Q 布団はどうされていますか。

A 布団は各自で持ち込んだり、リースを利用されることが多いです。

Q 通学合宿プログラムの流れを教えてください。

A 2泊3日の通学合宿として実施されたケースとして、次のようなものがあります。

	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:20～16:00	16:30	17:00	18:00	—	20:30	22:00
1日目					家から登校	学校生活集団下校	宿題学習	夕食準備	夕食	入浴洗濯ほか	特色ある活動*	就寝
2日目	起床	朝食準備	朝食	出発準備	宿泊所から集団登校	学校生活集団下校	宿題学習	夕食準備	夕食	入浴洗濯ほか	特色ある活動*	就寝
3日目	起床	朝食準備	朝食	掃除後始末	世代間交流 地域学習など 合宿の振り返り	帰宅	※「特色ある活動」とは… 多様な経験や技能を持つ地域の人材や施設を生かした、地域のよさを伝える活動プログラム。					

通学合宿の情報はこちらまで

通学合宿についての詳しい情報（下記の内容）は、**学習情報提供システム「におねっと」**をご覧ください。

●通学合宿の手引き

- ・通学合宿とは
- ・通学合宿をするために
- ・募集チラシ見本、準備物チェック表、申込書見本
- ・リーフレットなどの参考資料

●県内の通学合宿の事例

- ・具体的な取組の様子がわかります。

●その他、子どもの体験活動に関わる情報など

におねっと

検索



<http://www.nionet.jp/>

問合せ先

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1
電話077-528-4654 FAX077-528-4962
Eメール ma06@pref.shiga.lg.jp



滋賀県教育委員会

地域と共に創りあげる実践事例①

西横関通学合宿（竜王町）

子どもたち自身が食材の買い出しに出かけ食事を作ったり、掃除をしったりしながら、協力して集団生活に取り組みました。天体観望会、竜王いろはかるた大会、工作教室、竹筒炊飯など、地域のボランティアに支えられ、豊富な活動メニューを用意しました。また、子どもたちが地域の家庭に「もらい湯」に行き、その中で地域の方々との交流を深めることができました。

と き 平成26年12月3日(水)～12月6日(土) 3泊4日

と ころ 西横関集落センター

参加者 竜王西小学校1年生から6年生 11名

主催者 西横関自治会

協力者 西横関福祉委員会



たこ焼きの具は何にしようかな？

感想

子ども

みんなで協力して食事を作って食べたら楽しかったです。後始末もしっかりがんばりました。家でもお手伝いしたいと思います。

保護者

子どもたちのためにたくさんの地域の皆さんに支えていただき、いつもお世話になっていることを改めて感じました。

地域

ボランティア活動を通じて地域の子どもたちのために自分にもできることがあると気づかせていただきました。子どもたちの笑顔がうれしかったです。



今日の夕食はうどんすき鍋。麺はどこにあるのかな？



口は出しても手は出さない。慣れない手つきにハラハラ。



「月ってこんなにでこぼこしてるんだね。」改めて感動。

地域と共に創りあげる実践事例②

田根っ子通学合宿（長浜市）

地域づくり協議会と学校運営協議会が母体となって実行委員会を組織し、春から準備を進め、通学合宿を初めて実施しました。田根小学校5・6年生が参加し、学習や食事作り・洗濯などに取り組み、共同生活を楽しみました。地域の若者が青年リーダーとして参画するほか、地域住民約50人が登下校の見守りや、子どもたちと寝食を共にして生活体験を支援。「まとめのつどい」には保護者も同席し、子どもたち一人ひとりの意見発表を聞いて、子どもたちの成長を確認することができました。

と き 平成26年9月24日(水)～9月27日(土) 3泊4日

と ころ 長浜市立田根公民館

参加者 田根小学校5・6年生 19名

主催者 田根っ子通学合宿実行委員会

協力者 田根地区・地域づくり協議会、田根小学校学校運営協議会、民生委員更生保護女性会、赤十字奉仕団田根分会、健康推進員、田根公民館 ほか



地域のお寺で座禅を体験

感想

子ども

この合宿で規則正しい生活ができました。これからもずっと友達と仲良く協力して団結し、楽しくがんばりたいです。たくさんの思い出ができました。

保護者

合宿から帰ってきてからは、自分で考えて洗濯物を取り入れたり、「何かしようか。」という言葉をかけてくれるようになりました。スタッフの皆様のおかげで、子どもたちとの距離が縮まったように感じています。子どもたちとの距離が縮まったように感じています。子どもたちとの距離が縮まったように感じています。

地域

3泊4日は少し長いのではとの声もありましたが、合宿後も「通学合宿のおっちゃん」として子どもたちと話しています。子どもたちとの距離が縮まったように感じています。子どもたちとの距離が縮まったように感じています。



「ふるさと田根のお話」では新しい発見がいっぱい。



初めて自分で洗濯をしてピンと広げて干しました。



地域の方と一緒に大勢で食事。話はずみずみ。

通学合宿を実施するまで

① 実行委員会

PTA役員、子ども会、自治会、女性会、老人クラブ、民生委員の代表などで組織します。通学合宿の目的について共通理解を図り、日時・宿泊場所・参加対象者などについて協議します。事前に学校と調整しておく必要があります。



② 参加者の募集

募集案内を作成し、学校や自治会などを通じて配布します。

募集内容の案内

- ・日時、日程
- ・対象、定員
- ・申し込み方法など
- ・場所
- ・参加費

③ ボランティアの募集

協力していただきたい内容や時間帯を明確にして募集します。

ボランティアの種類

- ・食事づくり補助
- ・買い物付き添い
- ・登下校の安全確保
- ・もらい湯協力など
- ・洗濯指導
- ・学習支援

※無理のない範囲で、できる時間に行けることを協力いただけるよう呼びかけましょう。

④ スタッフ会議

実行委員・ボランティア・事務局員が集まり、スケジュール、スタッフの役割分担などを決めます。また、施設や登下校経路などの確認、保険への加入や安全管理マニュアルの作成など、安全に合宿が実施できるようにします。



⑤ 事前説明会

参加する子ども・保護者に対して、目的・活動内容・準備物・安全管理などについて説明します。子どもたちは、生活の約束や献立などを話し合ってお決め、合宿の目的、決まりや持ち物を確認します。説明会で明らかになった課題は、合宿当日までに協議し、解決しておきましょう。

⑥ 通学合宿の実施

地域の方々の協力を得て、一定期間地域の公民館や自治会館に寝泊りし、学校に通います。学習・食事・入浴・掃除・洗濯といった基本的な生活習慣が子どもたちの力で行えるよう、見守り支えます。

